

令和 2 (2020)年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	心的イメージの脳情報表現の可視化
研究代表者	神谷 之康 (京都大学・大学院情報学研究科・教授) ※令和 2 (2020)年 9 月末現在
研究期間	令和 2 (2020)年度～令和 6 (2024)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>【課題の概要】</p> <p>本研究は、研究代表者らがこれまで開発してきた脳情報デコーディング技術と深層ニューラルネットワークを融合することによって、脳内の様々な心的イメージを可視化し、イメージが生成される脳部位や情報処理方式を解明しようとするものである。</p> <p>【学術的意義、期待される研究成果等】</p> <p>これまで世界的な成果を上げてきた研究を発展させ、より多様な心的イメージについて可視化の精度を大きく高めるものであり、脳機能の解明に大きく貢献するだけでなく、画期的なブレイン・マシン・インタフェースの開発や精神疾患診断などへの応用も期待できる。</p>